

令和8年度 1人1台端末 Chromebook



クロームブックの活用の 前北スタイル

令和4年3月に改訂した札幌市の「1人1台端末活用のガイドライン」を基にしています。前田北小では、使い慣れること、プリントの配付・回収の時間等を縮減し追求の時間を確保すること、学習への参加度を上げ意見の交流を活性化させること、個々の能力に応じた学習を実現させることを目的として、登校後の朝、授業時間、家庭学習を中心に使用していきます。

8:15 登校 **心と体の健康観察**

- ◆ 登校後、自分の端末を自分の机の上に置く。
- ◆ 電源を入れ、シャボテンログに心と体の調子を選択し打ち込む。
- ◆ Chrome Book を保管場所にしまい、朝読の準備をし、8:30には、朝読を始める。



1時間目 授業 **基礎基本・調べ学習**

2時間目

- ◆ (国語の例)「漢字スキルアップ」のQRコードを読み取り、漢字の書き順を正しく覚える。
- ◆ (社会の例)「資料集」のQRコードを読み取り、動画を見る。インターネットで検索して、自動車が出来るまでの様子を確かめる。



10:20 中休み(昼休み) **係・委員会活動**

- ◆ 基本：Chrome Book を保管場所にしまう。
- ◆ (例)担任の先生に許可を取って、新聞係で作成する新聞に載せるアンケートを作成する。



3時間目 授業 **表現・プログラミング**

4時間目

- ◆ (理科の例)雲の動きについて、自分なりの仮説を立て、打ち込み、お互いの仮説を見合う。
- ◆ (算数の例)図形の作図についてプログラミングのソフトを使用して作図する。



5時間目 授業 **思考・表現**

6時間目

- ◆ (音楽の例)先生から配信された楽譜に、演奏する際の工夫点について思いついたアイデアを書き込む。
- ◆ (総合の例)調べたことを基にして、スライドを活用して発表資料を作成する。

15:10 下校 **家庭学習**

- ◆ Chrome Book の電源を切り、袋にしまって持ち帰る。
- ◆ 放課後配信される家庭学習の基礎・基本を行う。



感染症や災害などで学級閉鎖が長引いた場合

1年生は、クロームブックの使用が2学期から、クロームブックの持ち帰りが10月以降としていますので、持ち帰りができるまでは、右の表のようにします。

- 学習については、ホームページ掲載の時間割に準拠するようにします。すぐーで教科書のページや課題、取組方を示すようにします。
- 「さっぽろっ子学習サポート」を参考に、課題や課題の取組方を示すようにします。



1日の流れ(1年生初期)

時間	すぐー	電話
8:00	健康観察 すぐーで課題を連絡	
	1、2時間目の学習	電話による学習のサポート ※質問のある保護者のみ
10:20 中休み 10:40		
	3、4時間目の学習	
昼食 13:15 昼休み 13:30		
	5時間目の学習	
放課後	お知らせ 明日の予定などの連絡 宿題の連絡	

1日の流れ(2~6年生、1年生後期)

時間	すぐー	Chromebook
8:00	健康観察	Classroomで課題を連絡
		1、2時間目の学習
10:20 中休み 10:40		Meetによる学習のサポート ※質問のある児童のみ参加
		3、4時間目の学習
昼食		
13:15 昼休み 13:30		Meetによる学習のサポート ※質問のある児童のみ参加
		5時間目の学習
放課後	お知らせ 明日の予定などの連絡 宿題の連絡	

2年生以上は、右の表のようにします。

- 学習については、ホームページ掲載の時間割に準拠するようにします。Classroomで教科書のページや課題、取組方を示すようにします。
- 授業時間中の**Meet**の使用については、児童の健康面、家庭の通信量の負担などを考慮し、**1日最大2時間まで**とします。
- 出席停止時、**Meet**を行う際には、**保護者の承諾**を得るようにします。

※1人で学習を進める児童の負担を考え、6時間授業でもあっても**5時間授業**とします。